AI開発を、改善し続ける
「ソフトウェアファクトリー」へ

Moji株式会社

代表紹介



CEO Riki Kamano

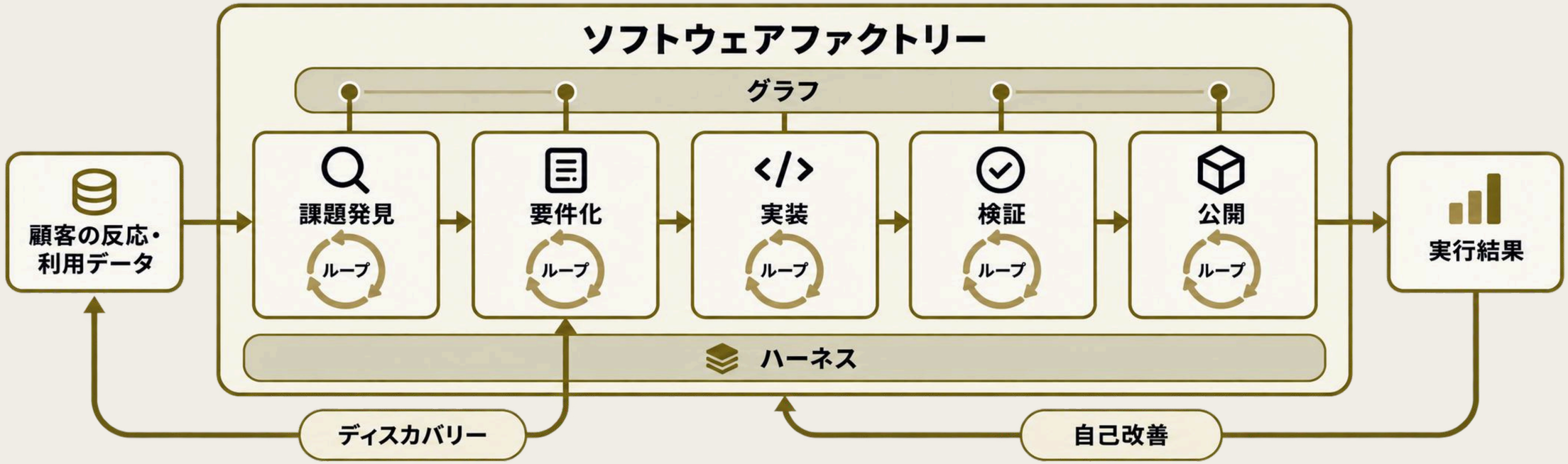
生成AIと新規事業の専門家

- 1993年生まれ、大阪出身、趣味は超大型犬と登山。
- 慶應義塾在学中に起業した会社にて1500万ユーザーの日本一の車メディア事業を売却。
- 新卒でサイバーエージェントなどを経てAIエンジニアとしてスタートアップの支援を行い累計調達額100億を達成する。
- その経験を経てエンタープライズ50社以上を支援するAIコンサル新規事業開発事業とAI評価クラウドを提供するMojiを創業。

AI活用は個人のコーディング支援から、
開発全体を動かす仕組みに移っている。

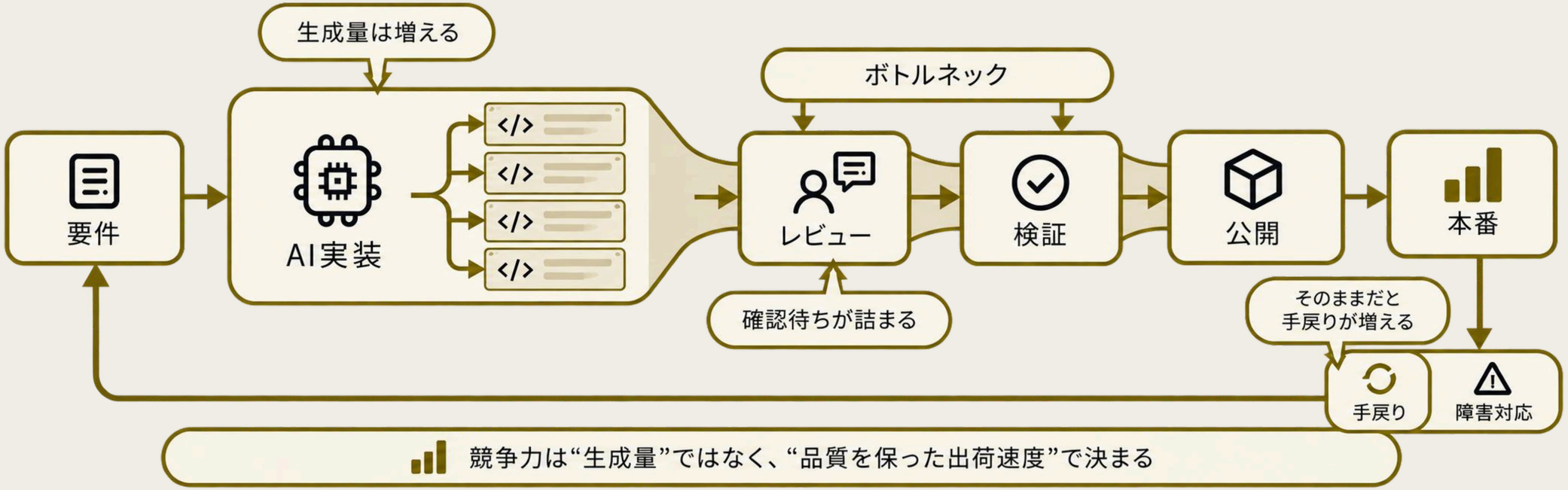
Moji

AIコーディングは、コード生成だけでなく、課題発見、要件化、実装、検証、公開までを一連の仕組みとして動かす方向へ進んでいる。
これらを継続的に回す開発体制を、ここでは「ソフトウェアファクトリー」と捉える。



AIで「書く速度」が上がるほど、
レビューと検証がボトルネックになる

Moji

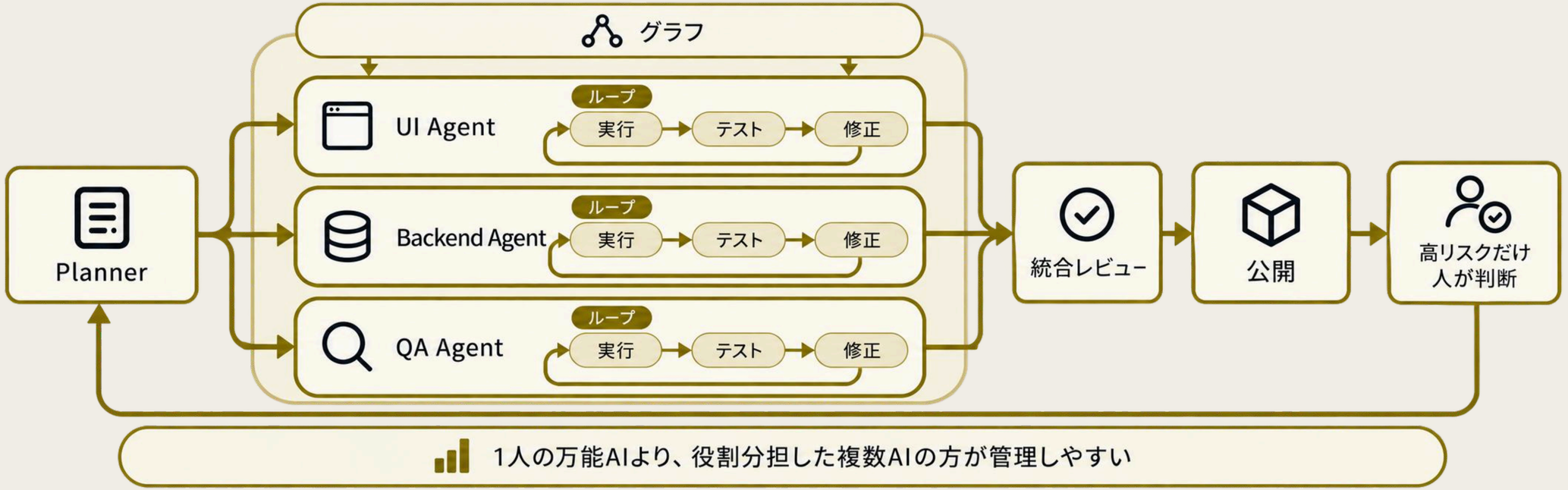


> AIによって実装量が増えても、レビュー、テスト、手戻りが増えれば、顧客に届けるまでの時間は短くならない。
> 開発生産性を見る軸も、コード生成量から「品質を保って本番に届ける速度」へ変わる。

見るべきKPI：リードタイム / 手戻り / レビュー工数 / 本番障害 / 総コスト

1人の万能AIではなく、反復と役割分担で開発を回す

Moji



> **Loop Engineering**
> 一つの仕事を、どの条件まで繰り返して完了させるかを設計する。
> **Graph Engineering**
> 複数のAI、人、ツールを、どの順番で動かし、どこで分岐、合流させるかを設計する。
> **高リスク / 低確信度 / N回失敗 → 人へ**

AIの性能以上に、「任せられる環境」が自律開発の品質を左右する

Moji

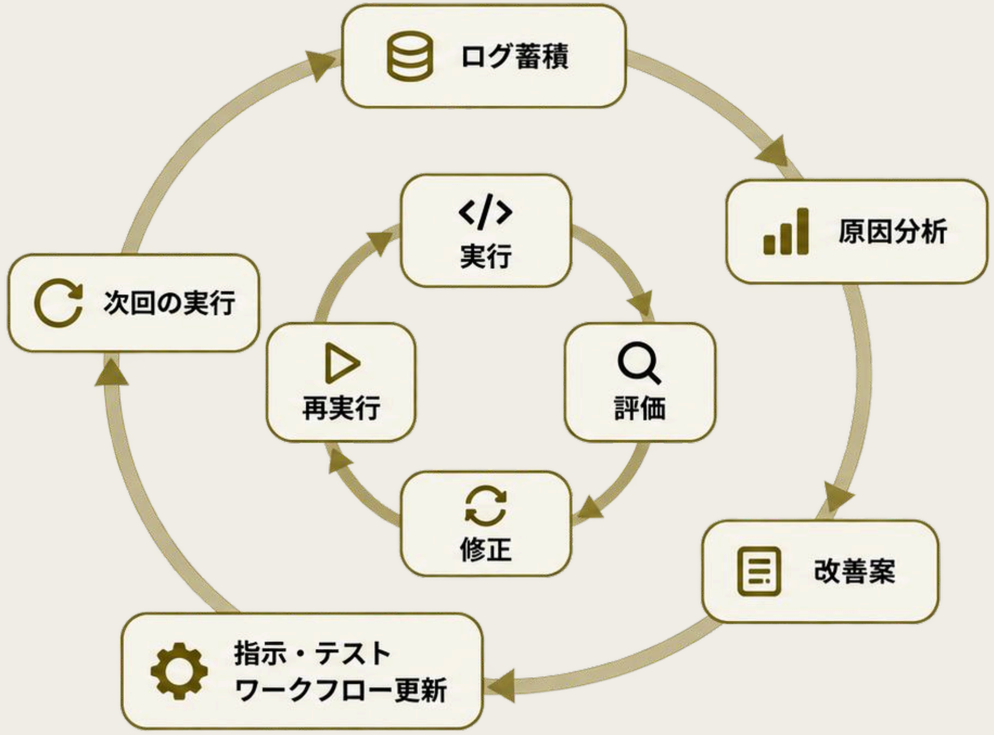
AIに与えるもの	決めること	具体例
仕事の定義	何をもって完成とするか	仕様、受入条件、非機能要件、禁止事項
情報とツール	何を参照し、何を操作できるか	コード、社内文書、DB、API、クラウド
検証と停止	何を通れば次へ進めるか	テスト、型、SAST、レビュー、失敗回数上限
記録と復旧	問題発生時に追跡・復元できるか	ログ、変更履歴、監査証跡、ロールバック

> この4つをまとめて**Harness Engineering**
> AIの「できました」を完成条件にしない。決めた基準を通ったかで判断する。

不具合を直すだけでなく、「次回の作り方」まで改善する

Moji

通常のAIエージェントは、今回の仕事を成功させるために試行錯誤する。
自己改善型システムでは、その実行結果を使って、次回以降に使う指示、テスト、記憶、ワークフロー自体を改善する。



	通常のループ	自己改善
改善対象	今回の成果物	次回使う仕組み
例	コードを修正	テストや指示を更新
効果	今回の問題を直す	同種の失敗を減らす

「何を作るか」まで、AIが顧客データから起案するようになる

Moji

AIに要件を渡して実装させるだけでなく、利用ログや顧客の声から課題を発見し、次に作る機能そのものを起案するところまで自動化の範囲は広がり得る。ここでは、この仕組みを「**Discovery Engineering**」と呼ぶ。



人が機能名を指定する前に、AIが開発案件そのものを起こす

先行企業でも完全無人ではなく、「どこまで任せるか」が違う

Moji

先行企業でも、開発工程のすべてをAIだけで完結させているわけではない。
差が出ているのは、どの工程をAIに任せ、どこで品質を確認し、どの条件で人に戻すかという設計にある。

事例	AIに任せている範囲	人・品質管理の置き場所
Stripe Minions	実装からテスト	マージ前は人がレビュー
OpenAI	実装、テスト、レビューなど	人がハーネスや開発環境を整備
Uber uReview	コードレビュー	AIの指摘自体も継続評価
Claude Dreaming	過去実行から記憶を更新	変更内容を確認・破棄できる

人の役割は「各工程を実行する」から「目標と権限を設計する」へ移る

Moji

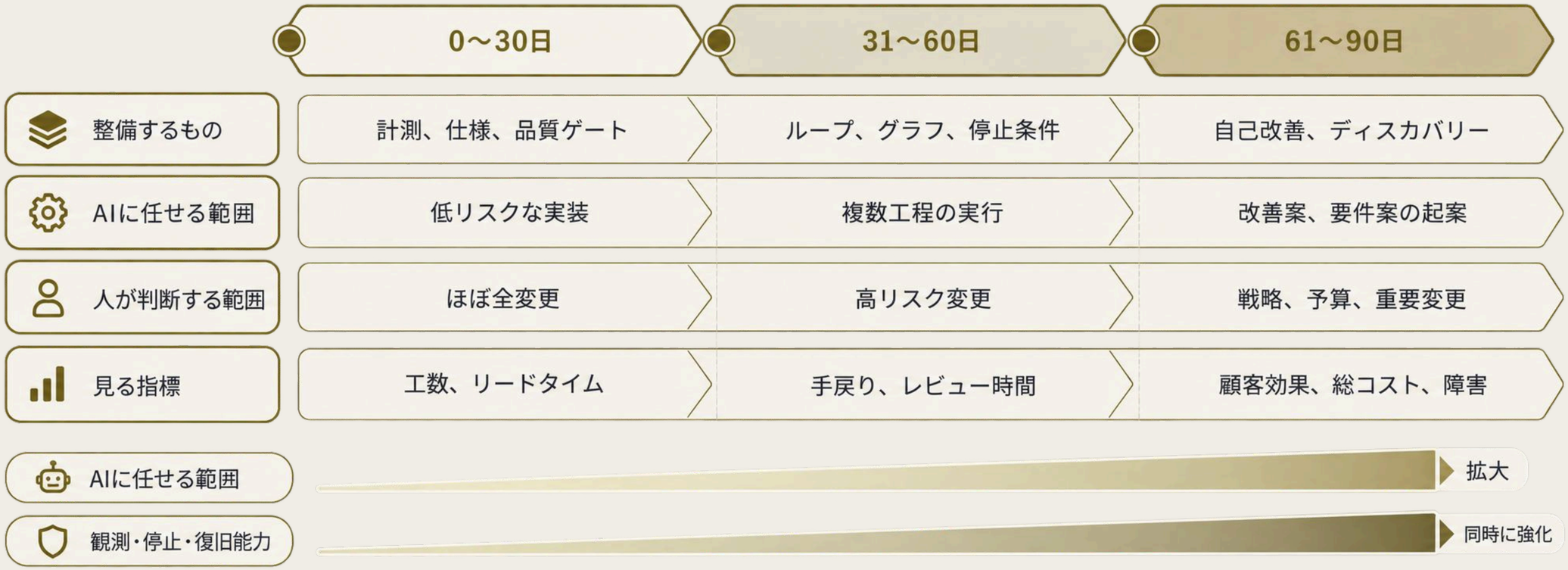
AIが課題発見や要件化まで担うようになると、人の役割は個々の作業を実行することから、AIが判断できる目的と境界条件を設計することへ移る。

開発活動	これまで	AIネイティブな開発
課題発見	PM、事業部	AIがログや顧客の声から提案
要件化	PM、事業部	AIが仕様案を生成
実装	エンジニア	AIコーディングエージェント
改善	PM、開発チーム	AIが改善案を継続生成
人の役割	各工程を実行する	**目標、予算、権限、リスク、責任を設計する**

自律化は、一気に進めず「任せられる権限」を90日で広げる

Moji

完全自律を最初から目指すのではなく、低リスクな仕事から始め、品質と事業効果を確認しながらAIに渡す権限を段階的に広げる。



Thank you for listening

質問や問い合せはこちら